

会員投稿

予防接種健康被害救済制度について

工藤歯科医院 歯科医師 工藤 大八郎 (伊丹市)

なぜ、この予防接種健康被害救済制度について興味を持ったかと言いますと、子どもがコロナワクチン接種をしたところ、副反応がでてステロイドを投与することになり、いろいろと考えさせられたからです。

この制度は、市町村の保健所から厚生労働省の疾病障害認定審査会に申請書類を提出しますが、書類が診断書だけでなくカルテまでいるので、申請もなかなか大変な制度です。

さらに保健所の担当者と直接会って話をしたところ、即時型のアレルギーによって接種会場で倒れた人しか申請が通ったことがないこと、そしてその他はほぼ、「接種との因果関係不明」とされてしまうことを知りました

私の住んでる地域でのこの制度の申請は、コロナ前は 10 年間で 1 件でしたが、コロナワクチン接種開始後、1 年で 10 件の申請だったようです。恐ろしいまでの急増です。しかしながら、10 件中申請が通ったのは 1 件だけと、予防接種健康被害救済制度は、ほぼ救済しない制度であるとなりました。

テレビで見た話で、田舎から東京に出て一人暮らしをしていた 20 代の男性が、ワクチン後 3 日で、亡くなった話がありました。この場合は、田舎の両親に請求権はありません。この制度は、生計を一としている場合のみとなっているのです。これも大問題です。健康被害にあっても救済されないのは制度の欠陥であり、改善すべきでしょう。

健康情報テレホンサービス

通話料無料 (0120) 979-451

Web site でも
ご覧いただけます

★ 24 時間いつでも 3 分間程度の開業医の手作りの健康・医療情報を放送しています。
★ インターネットでもご覧いただけます。過去の放送分もキーワード検索できます。URL は、<http://www.hhk.jp/> 左下のバナー「健康情報テレホンサービス」をクリック。

【4 月のテーマ】月曜日 変形性股関節症 火曜日 子どもの歯並びについて
水曜日 腸閉塞とは 木曜日 眼瞼痙攣について
金土日 不妊でお悩みの方へ

4 月 29 日 (金・祝) は木曜日のテーマを放送します

(祝日は前日の放送が流れます。都合により、テーマの一部を変更する場合があります)

兵庫県保険医協会

北阪神支部
ニュース

2022 年 3 月 25 日号 No.325

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治〒 650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル 5 階

☎ (078) 393-1801 FAX (078) 393-1802

<http://www.hhk.jp/>

ラジオ関西「医療知ろう！」に出演

マイナンバーカードが保険証に！？

北阪神支部幹事・協会評議員 島津 俊二 (川西市)

マイナンバーカード
について詳しく解説
した島津先生

パーソナリティの寺谷一紀さん (右)

ラジオ関西番組「寺谷一紀と！い・しょく・じゅう！」内の協会提供コーナー「医療知ろう！」に、2 月 24 日島津俊二先生 (しまづ歯科医院・川西市) が「マイナンバーカードが保険証に！？」のテーマで出演。島津俊二先生の感想文を掲載する。

当日の様子は、放送後でも番組ブログや協会ホームページ (<http://www.hhk.jp/topics/2021/1007-090000.php>) から視聴できる。

先日、ラジオ関西にてマイナンバーカードの健康保険証化についてお話をさせて頂いたので、ご紹介させていただきます。そもそもマイナンバー制度はどのようにして始まったのか、1968 年の佐藤内閣時代いわゆる『国民総背番号制度』の頓挫以来、国は良きにつけ悪きにつけ国民を掌握したい欲望があります。住基ネットとして復活 (次のページに続く)

(前のページより)

はしましたが成功には至らず。民主党政権下でマイナンバーとして復活した制度でした。そして制度としてさらに発展させようとして、ワンカード化(全ての情報を一つのナンバーに集約、紐付けようとする制度)を図ろうとしたのが現在のマイナンバー制度です。制度導入にかかる費用は数兆円とも言われています。

現在は銀行等の資産に関して紐付けされており、今時の健康保険証、そして運転免許証がまもなく紐付けされます。様々な資格、医師免許なども予定されています。

わたくしはこのような管理社会の怖さから、この制度の将来的危険性を8年前から評議委員会で訴えて参りましたが、やっと皆さんの注目を集めることが出来、保団連でも保険証と紐付けるにあたり、やっと反対の声が起きました。

今回のマイナンバー制度推進にあたり、過去の数兆円の失敗を繰り返さないように、さらに数千億円をかけて、政府はポイント制度を導入したり、カード会社と連携したりして普及に勤めた結果、現在普及率は50%近い数字になってます。それでもこの程度です。国民は政府にいつも疑問符を投げかけてます。その疑問符は「安全なのか?だれが責任を負うのか?」、この疑問にだれも答えていないのです。

先日、ワクチン接種会場にマイナンバー関連のチラシがありました。どのチラシを見ても「便利」という言葉はありましたが「安全」という言葉は一切ありませんでした。このことを強くラジオで訴えました。そしてさらにマイナンバーカードは任意ですし、保険証と紐付けるのも任意です、現在の保険証で安心して受診できますと訴えました。皆さんに届くといいのですが。

(次のページに続く)



兵庫県保険医協会の医師・歯科医師が、
ラジオ番組「寺谷一紀と! い・しょく・じゅう!」
「医療知ろう!」コーナーで「コロナワクチンはどうなるの?」
「歯と全身の健康との関係は?」など
身近な医療に関する疑問にお答えします。
毎週木曜日夜7時25分ころからは、
ラジオ関西(AM558KHz)をぜひお聞きください。

寺谷一紀と! い・しょく・じゅう!
医療知ろう!

毎週木曜日 / PM6:00~8:00
コーナー / PM7:25~7:35頃
放送期間 / 2021年10月~2022年3月

ラジオ関西 AM558 FM91.1 AM 558KHz./1395KHz.(県北部)/FM91.1MHz.

(前のページより)

今次の保険点数改定で初診と再診にお涙程度の点数がマイナンバーカードを読み込みカードリーダー設置診療所に加算されるらしいです。規模の大小はあろうがカードリーダー導入には平均して186万円いるというのに、コロナ禍で患者環境改善、維持に費用がかかっているのに出せる医療機関はどれだけあるのでしょうか。カルテの電子化が進んでいる現在、そのシステムとリンクするのにまた費用がかかるというのは納得がいきません。

マイナンバー制度は徴税効率を上げ、国民を監視、管理して、必要なデータは企業に提供して企業効率を上げるのが目的。独裁者は寿命があります、機械に託されたデータ利用は永久です。……永遠に人間の自由は失われるかもしれません。



幹事会だより

第414回 3月3日(木)宝塚市 参加6人

◆北阪神支部の会員数と組織率

2/28 現在 医科361人(74%)、歯科211人(64%)

◆情勢と医療運動対策

3月幹事会では6月もしくは7月に協会税務講師団の中村明税理士(神戸共同経理事務所)を講師に税務調査についての研究会を開催することを決定した。点数改定のリフィル処方箋について、患者の状態管理ができず危険であること、湿布の枚数制限についても問題で大阪府保険医協会では反対署名活動を行っていること、コロナ患者診療の診療報酬の算定が複雑であるとの意見が出された。

◆当面の支部活動

2022年3月24日(木)2022年度診療報酬改定研究会を伊丹シティホテルにて開催予定。(医科・歯科とも)

2022年5月21日(土)接遇研修会をいたみホール大会議室にて開催予定。後日ご案内をお送りいたします。

◆次回幹事会

4月7日(木)14時30分~「いたみホール第3会議室」にて開催予定
お問い合わせはTEL 078-393-1817 小川・大野まで

☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1817 / FAX 078-393-1802 e-mail akane@doc-net.or.jp 担当:大野まで

